

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) の晩期再発に関する後方視的解析

[当院研究責任者] 部署名 血液・腫瘍内科 氏名 梶口 智弘

[研究の背景] びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) は最も頻度の高い悪性リンパ腫の一種であり、中悪性度に分類され初回化学療法により比較的高い確率で治癒が期待できるとされています。しかし、そのエビデンスの元となる臨床研究の観察期間を超えるような晩期の再発についてのデータは十分ではありません。本研究では初回治療後長期間を経て再発を来した患者さんの情報を解析することで、DLBCL の晩期再発に関わる臨床情報を評価し、その病状や対策について検討します。

[研究の目的] DLBCL の晩期再発に関わる因子を同定・評価し、その病状や対策を検討する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2024 年 12 月 31 日までに当院で初回化学療法を施行したびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の患者さん

●研究期間：実施許可から 2025 年 10 月 12 日

●利用する検体、カルテ情報

年齢、性別、身体所見、検査所見（血液検査、画像検査、病理組織検査）

●利用する検体、カルテ情報の管理

カルテ情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるよう

な情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 血液・腫瘍内科 氏名 梶口 智弘

---

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139